

11th Heidelberg Laureate Forum 活動報告書

京都大学工学部情報学科2回生
柳澤篤



目次

- 今回のHLFの目標
- 0日目：移動
- 1日目：ハイキング、Opening Ceremony
- 2日目：Lecture, Speed Networking
- 3日目：Master Class
- ハイデルベルクでの生活
- 4日目：Board Trip
- 5日目:Lampport 先生
- 6日目：ハイデルベルグ城
- HLFが終わって
- まとめ

HLFの個人的な目標

- 目標1:できる限り多くの人と英語で話す
- 目標2:自分の今後のキャリアについていろいろな人に相談する

0日目：移動

- 関西国際空港⇒イスタンブール空港
⇒フランクフルト空港
- フランクフルト空港⇒ハイデルベルク市内 バスで移動
- 受付を済ませたあとは、観光。

初めて、HLFで話しかけたTungさん。
英語が覚束ない僕に、辛抱強く話をしてくれた。



1日目 ハイキング

- HLFの参加者とともハイキングへ



1日目 Opening Ceremony

- Opening Ceremony



2日目:Lecture, Speed Networking

- Lecture:

Are We (Still!) Not Giving Data Enough Credit?(Efros)

概要：機械学習をはじめとするアルゴリズムは学習に使用するデータに一定の制約を受ける。

⇒初めて英語で聞く講義で、内容自体やプレゼンの構成も簡潔でわかりやすく強く印象に残った。

- Speed Networking:

3分間2人でお互いの自己紹介を行う。これを15回繰り返す。

⇒自分をどうアピールしていけばいいのかを学んだ。

2日目:Welcome Dinner

いろいろな人に話しかけたが、
自分の英語が伝わらずとても苦労した。



3日目：Master Class

- Master Class (過去のHLFの参加者が主催する少人数授業)

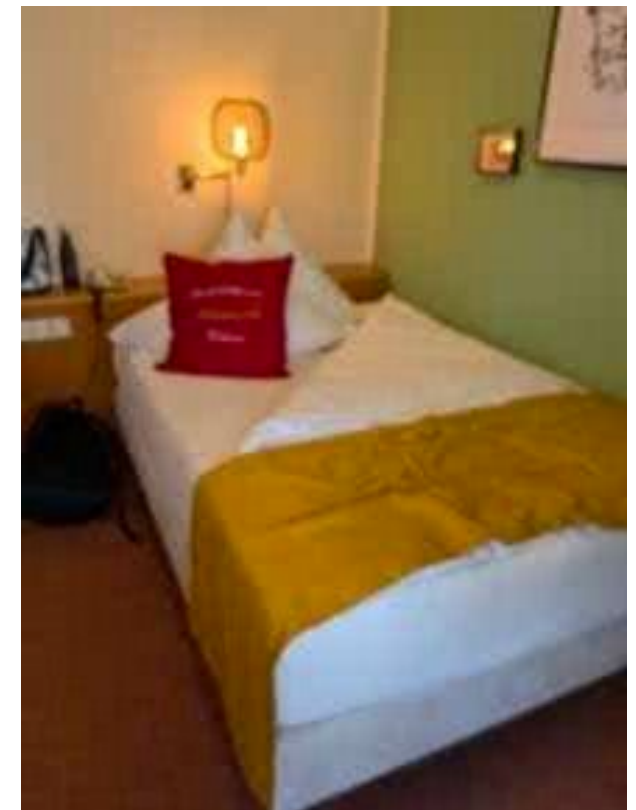
Why Chat-gpt is bad
at math?

数式の処理方法をAlpha Geometry
と Chat-gptを比較しながら、
Chat-gptの推論能力を考察して
いった。(意味論的に解釈するか、
ただ記号として解釈するかの違
い。)



ハイデルベルクでの生活

- ホテル



• 食事：



ホテル内の朝食



昼ご飯(基本的に大学の食堂)

4日目：Boat Trip



Boat Tripで出会った Koyiso Nongxs先生
自分の下手な英語にも付き合ってください、
このBoat trip中長い時間喋った。
自分のこれからのキャリアについても丁寧に
指導して下さった。研究に少し関わってみ
たらやりたいことが明確になるとの指摘を受
けた。



4日目までに仲良くなった参加者の人たち



5日目：Lampport 先生

- Lampport 先生

Spark Session: Coding is not Programming

Small Group Interaction (少人数で1人のLaureateの授業を受ける)

：数学の証明方法について

初めて、Laureateと長時間(5分程度)喋った。
今後Computer Scienceが
どう発展していくか、そのためにはどうすべきかを話
してくださった。



5日目：Bavarian Evening

- 母国の伝統的な衣装を着て、夕食に参加



6日目：ハイデルベルグ城

Scientific Interaction:

これからのキャリアについて
具体的な講義

(HLFF inspiring mind
Mentoring Programなど)

その後、ハイデルベルグ城にて
Farewell Dinner。



Farewell Dinnerにて



Jeffrey 先生の目の前で
食べることができた。
写真と一緒に取ること
ができず残念。

HLFが終わって

- 目標1:できる限り多くの人と英語で話す

⇒自分の英語力がネックとなり特にLaureateの方と話すことはあまりできなかった。

ただ、HLFの参加者をはじめとするたくさんの人と英語を通じて交流ができた。

- 目標2:自分の今後のキャリアについていろいろな人に相談する

⇒色々な人に相談することができた。特に大学生のうちにやっておくべきことについて現実的なアドバイスをたくさんくださった。例えば、色々なComputer Scienceの領域に触れてみるなど。



まとめ

- 11th HLFに参加し、ハイデルベルグの地でいろいろな人とコミュニケーションを取り、自分が触れたこともない興味深い講義を聞くことができた。
- ただ、自分の英語力の不足から怖気付き、Laureateとたくさん喋れなかった点など、後悔する点もある。
- 今回の経験で学んだことを踏まえてもっと頑張っていきたい。
- 最後に、支援してくださったJDC財団の皆様ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

